

～ タイムリーな情報を、いち早く皆様にお知らせします ～

◆6月度西山経営革新塾／タイ視察報告

6月度の革新塾はメンバー7名による2泊3日のバンコク視察となりました。1日目は見本市『MANUFACTURING EXPO』を一日がかりで回りました。『MANUFACTURING EXPO』は METALEX 開催で知られる Reed Tradex が主催しており、ASEAN 地域最大の工作機械、工具、金属加工技術の国際見本市である METALEX に対し、『MANUFACTURING EXPO』は「自動車部品製造技術に関するタイで最も包括的なイベント」です。タイ経済のバロメーターとも呼ぶべき自動車産業により特化した展示会となっていますが、それ以外の業界の出展企業も多いです。世界46カ国から2425の技術ブランドを展示しており国内外のビジネスマン7万6000人（見込み）の来場で日系企業も多数出展されていました。

視察感想としては、日系企業につき、台湾・シンガポール・中国なども増えており、数年前と比べると、大企業の出店が減り中堅中小企業が増えています。気になったのは、韓国企業が殆ど目に入ってきませんでした。①ロボットの出店が多い。②計測機器の出店が多い。③目新しいものなし。④部品産業の出店が少なく、総括としては、日本の展示会より来場者は多いようでしたが、集客力に欠けているようでした。

2日目のバンコク都心部のショッピングモール視察では、高級輸入品店が占めており、日本商品を中心に、世界の有名ブランドばかりでした。ファッションの他、新鮮な野菜・果物、ありとあらゆるものがあり値段が安いものもありますが、全体的に日本で買うより高く、4階にはスーパーマーケットが入っており、高級にも拘らず賑わっていました。

◆「新時代の経営」における日本の存在性

1. 円安の影響⇒ベトナムなどコストが安い海外で作って日本に持ってくるという方法は今の円安と運賃では何のメリットもありません。

2. 部品産業での日本のウェイトは上がる⇒ベトナムやタイでもバイクは国際標準価格で販売されており、これからは部品産業の絶対量が不足します。アッセンブリーメーカーは増えますが、部品製造が出来ません。部品には日本やドイツなど特定の国でなければできない部品、ある程度の産業レベルがなければ作れない部品、どこでも作れる部品、という3つの部品が必要とされます。精度の高い部品は日本でしかできず、日本では何ができ、何が成り立つかを考える必要があります。これからも日本のウェイトは上がってくるでしょう。

3. 日本の存在性⇒関税が撤廃されるとモノ作りはどこになるのでしょうか。組立は市場から遠いと運賃がかかります。部品はベトナムなどで作る方向になりますが、もっと工業レベルを上げる必要があります。日本でしか作れない精度の高い部品は今後も日本に残り、ベトナムでは、高いレベルの部品は日本から買いますが、どこでも造れる部品は自分で作るという考えです。大事な部品は Made in Japan が求められ、まだまだ日本の存在性はあり、それを安く売る必要はありません。

◆ベトナム175病院ソン院長ご一行来日

6月に来日されたソン院長ご一行は、関西・香川と視察・訪問に回りました。日越医療介護協議会スタッフの皆さんの努力下、ご一行の皆さんは大満足でした。これから人財交流は一挙に話が進みそうです。人財交流と合わせて、医療ツアー（産業プラットホームの一環）の具体的な話が始まります。

◆喜多猿八の「うまいもん食らぶ」

本物の美味しさが毎月届く、喜多猿八の「うまいもん食らぶ」。6月は「アムスメロン」「桃（橋場白鳳 はしばはくほう）が届きました。

<アムスメロン>

名前の由来は交配した品種の生まれ故郷オランダの首都アムステルダムにちなんでいるそうです。特徴は全体にかかる網目ですが、細かく全体に綺麗に現れている方が香りや甘味が強く美味しい傾向があるそうです。



◆お香の講習会開催

創業143年の(株)岩佐佛喜堂（本社：高松市）がお香の講習会を開催しました。



詳しい記事やその他の情報は、BSOのホームページ <http://www.bso.co.jp> へ

情報てんこもりは、弊社の協働活動（受託事業・企画事業・出版事業）のタイムリーな情報をいち早く多くの方々に知っていただく為に発信しております。（お問い合わせは shienkikaku@bso.co.jp まで）